

帝都高速度交通営団 日比谷線中目黒駅構内 列車脱線衝突事故に関する調査報告書

平成 12 年 10 月 26 日

事故調査検討会

平成 12 年 3 月 8 日に帝都高速度交通営団日比谷線中目黒駅構内で発生した列車脱線衝突事故は、5 名の方が亡くなられ、63 名の方が負傷されるという、鉄道事故史上特記すべき痛ましい惨事であった。

事故調査検討会は、事故発生直後より、現地調査をはじめとして様々な調査・検討を行ってきた。特にこの事故の最大の問題である脱線要因を明らかにするため、事故発生現場において可能な限り当時の状況を再現して走行試験を行うとともに、シミュレーション等を活用して、脱線の発生に影響を与えたと考えられる各因子の影響度等の解析を行うなど、脱線現象の解明に注力した。

また、今回の事故では、列車が衝突したことに伴い双方の車両が大きく損傷しているが、被害状況と車体の強度との関連の観点からも調査分析を実施した。

これらの調査検討の結果を踏まえ、事故調査検討会は、同種の事故の再発を防止することを目的として、全国の鉄道事業者を対象とした具体的な事故防止対策についての検討を行い、提言としてまとめるとともに、今後さらに取り組む必要があると考えられる検討課題についても整理を行った。

本報告書は、事故調査検討会が実施したこのような調査・検討の結果をとりまとめたものである。

事故調査検討会 座長 井口 雅一